

# コンフィグレーションマネージャー

# コース概要

このコースでは、コンフィグレーションマネージャーの機能について見ていきます。ThinkDesign では、バージョン9以降でコンフィグレーションマネージャーが導入されました。

このツールでは、例えば、ThinkDesign の社内統一設定のようなものを集中して管理することができます。また、ユーザー一人で複数のバージョンにまたがる複数の設定を管理することや、複数のPC間で設定をやりとりすることなどことができます。

使用するファイル      なし



## 目次

Step 1: 設定の集中管理 .....	3
Step 2: 設定のコピー .....	5
Step 3: 異なったバージョン間での設定の維持 .....	8
Step 4: 異なった設定の管理 .....	11

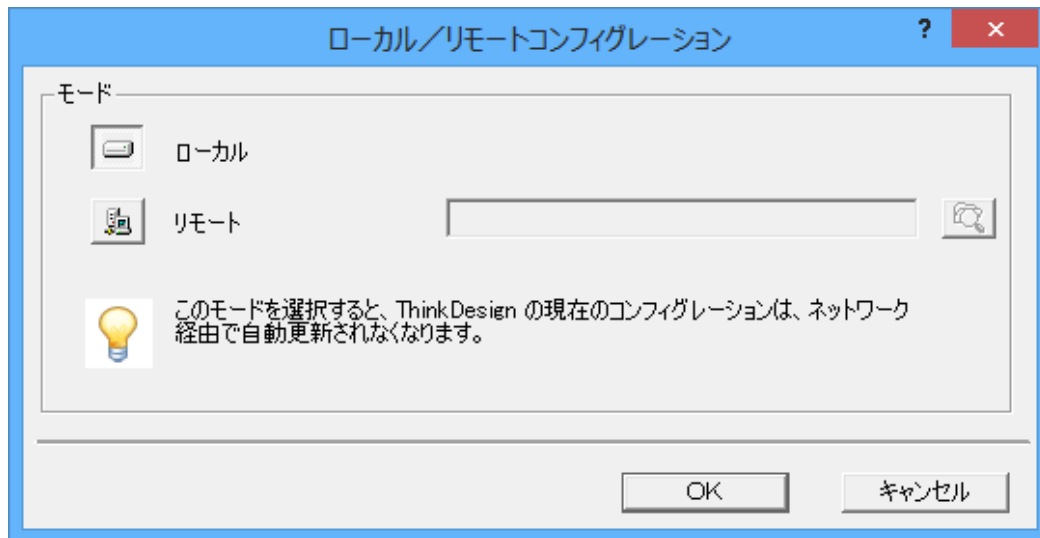
## Step 1: 設定の集中管理

このステップでは、クライアントーサーバーの設定を使用して、サーバーで設定を集中管理する方法を見ていきます。



はじめに、開いているすべてのドキュメントを閉じます。

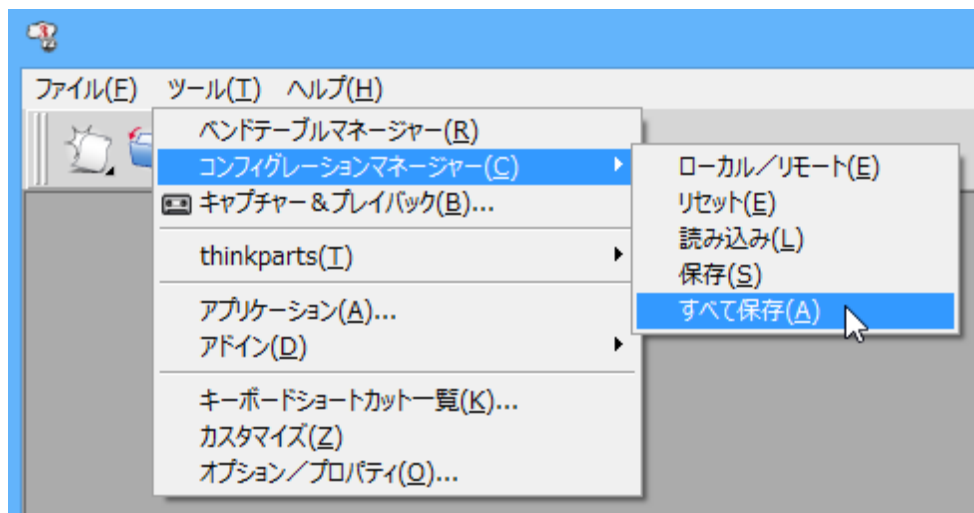
ツール  コンフィグレーションマネージャー  ローカル/リモート コマンドを選択します。

サーバーマシンでは、モードを **ローカル** に指定して、OK します。



C:\main\_conf フォルダーを作成し、共有設定を行います。

ツール  コンフィグレーションマネージャー  **すべて保存** コマンドで、現在の設定を myconf1 として C:\main\_conf フォルダーへ保存します。



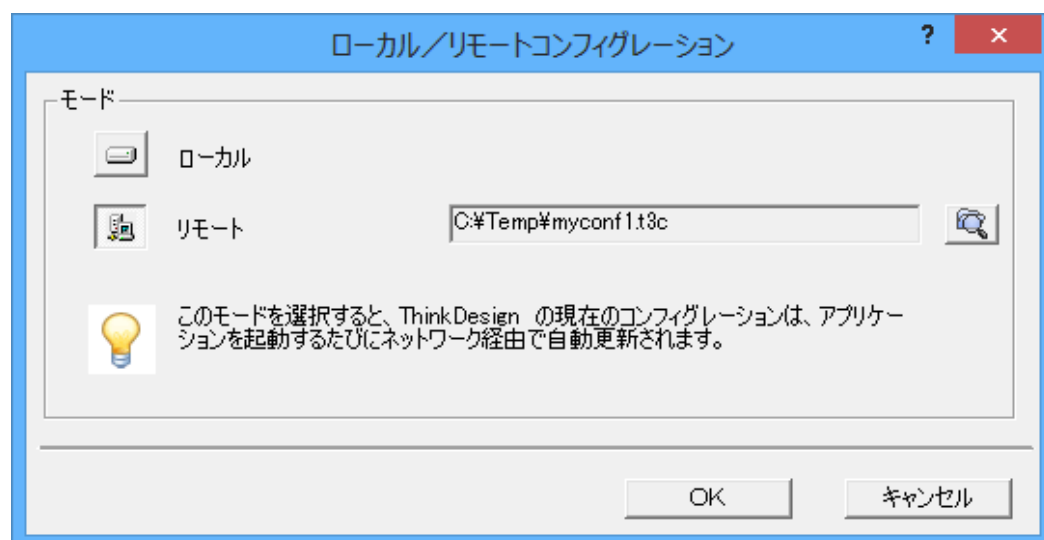
次のファイルとフォルダーが作成されます。

C:\main\_conf\myconf1.t3c

C:\main\_conf\myconf1\\*.\*

続いて、クライアントPCを設定します。

- リモート モードを選択します。



サーバーの共有フォルダーを参照し、myconf1.tc3 ファイルを指定します。

次のメッセージが表示されます。

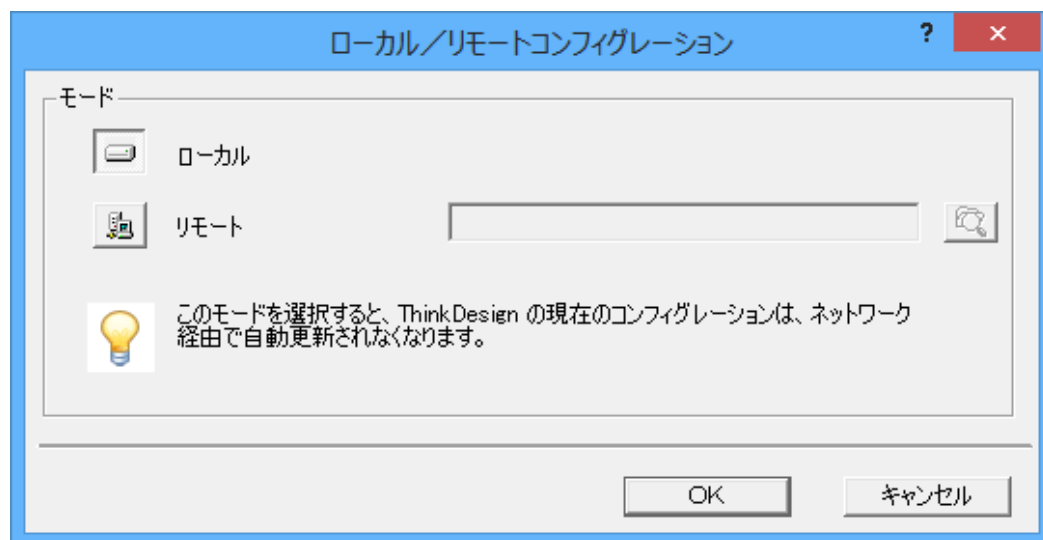




新しい設定を有効にするためには、いったん ThinkDesign を再起動する必要があります。  
これ以後、このクライアントでは、ThinkDesign を起動するたびにサーバーより設定を読み込んで起動するようになります。

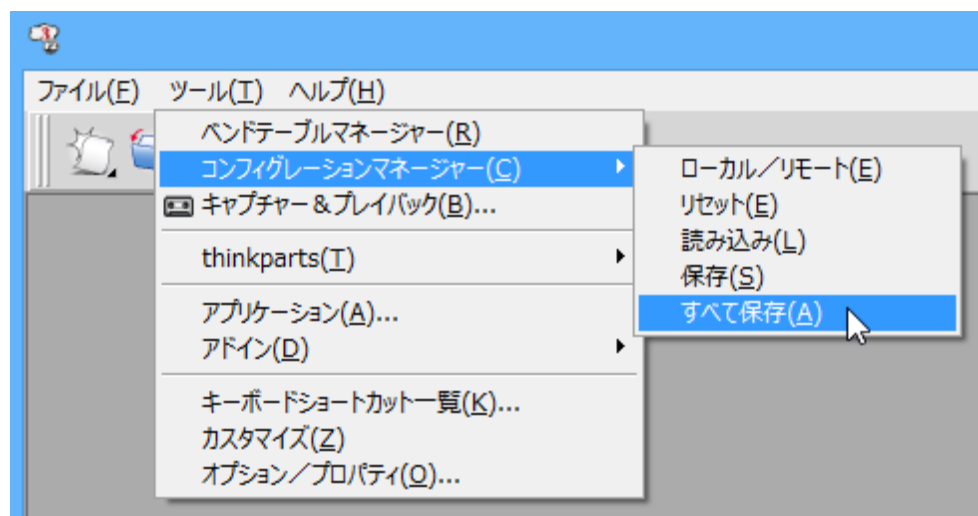
## Step 2: 設定のコピー

このステップでは、PC間で設定をコピーする方法を見ていきます。これは例えば、古いPCから新しいPCへ設定をコピーするような場合です。

- 古いPC側で、ローカルモードを指定します。



- ツール  コンフィグレーションマネージャー  すべて保存 コマンドで、現在の設定を myconf1 として C:\main\_conf フォルダへ保存します。



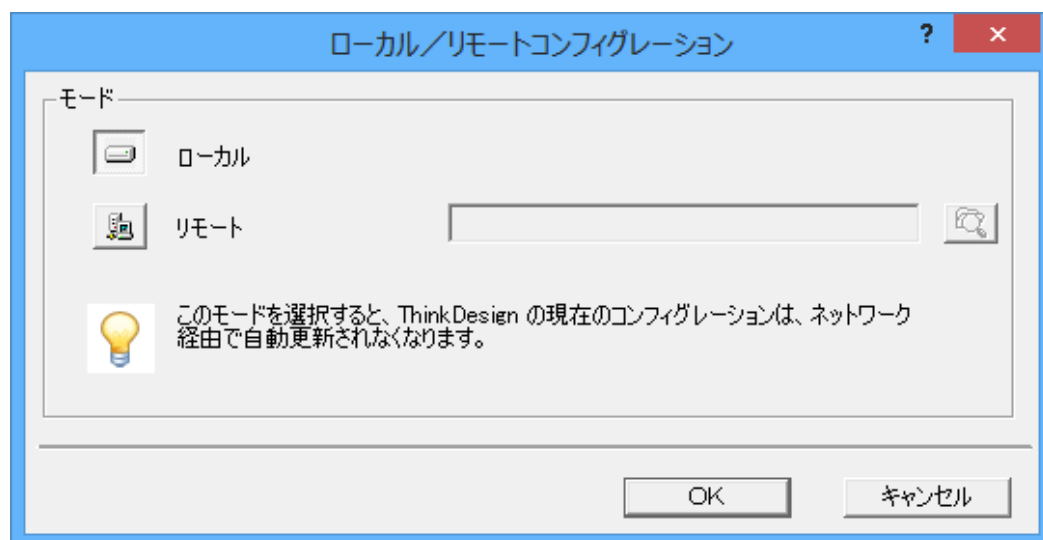
- 次のファイルとフォルダーが作成されます。

C:\main\_conf\myconf.t3c

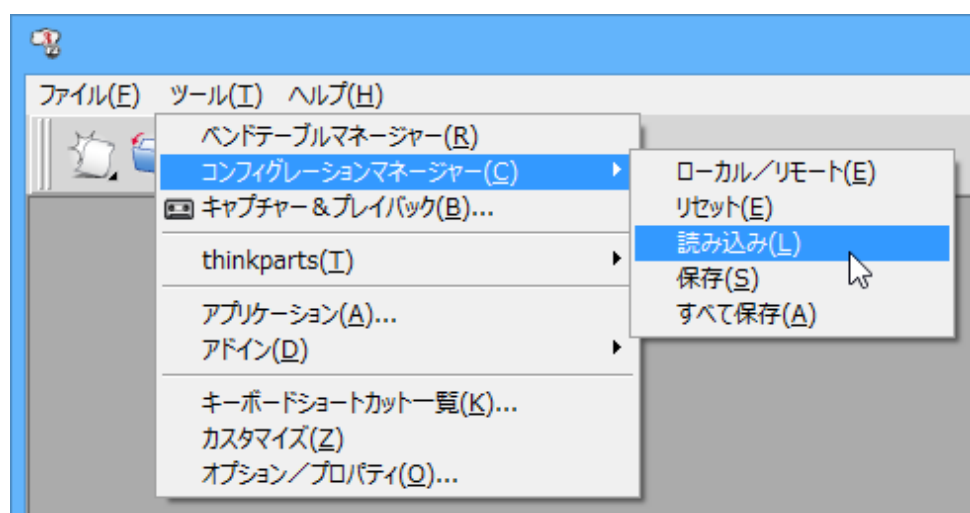
C:\main\_conf\myconf\\*.\*

続いて、新しいPC側です。

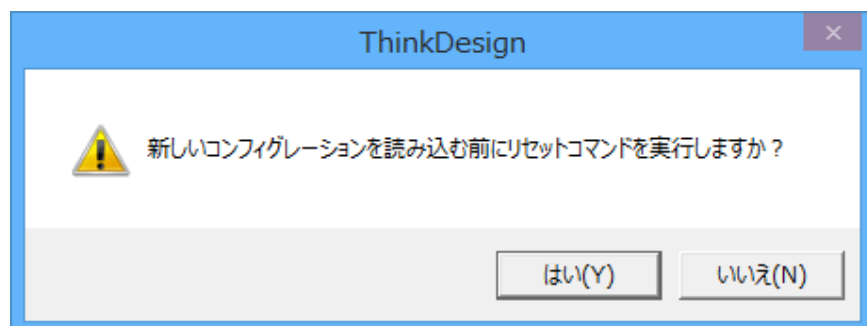
- 保存された myconf.t3c ファイルと同名のフォルダーを新しいPCへコピーします。
- 新しいPC側でもローカルモードを指定します。



- ツール  コンフィグレーションマネージャー  読み込み を選択し、コピーした myconf.t3c ファイルを指定します。



ファイルを指定すると、次のメッセージが表示されます。



「はい」を選択すると、すべての設定をリセットしてコンフィグレーションを読み込みます。  
「いいえ」を選択すると、現在の設定に上書きしてコンフィグレーションを読み込みます。

次に、以下のメッセージが表示されます。

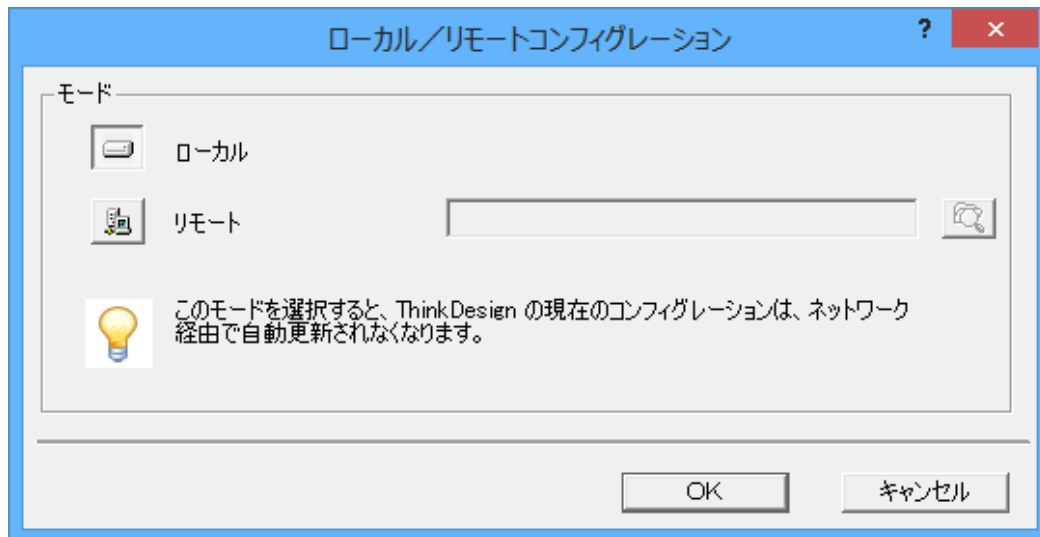




ThinkDesign を再起動すると、新しい設定が有効になります。

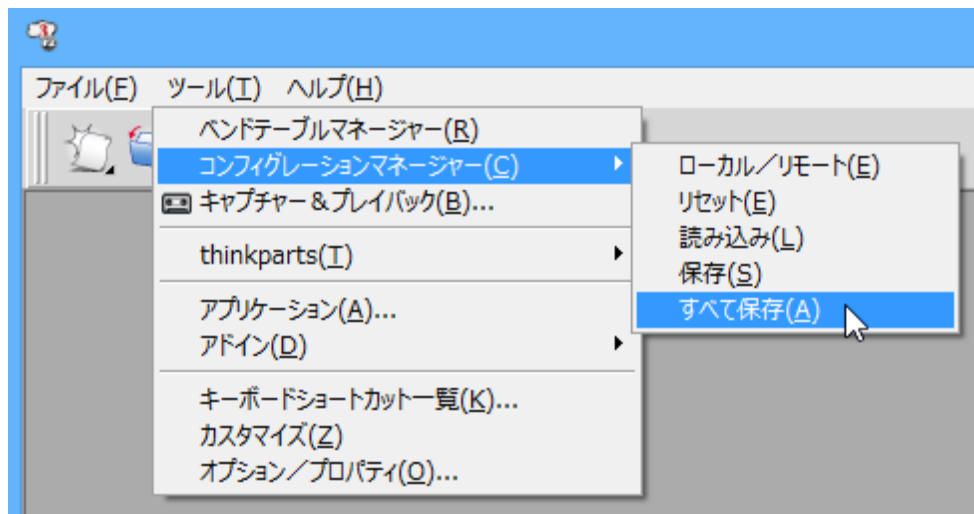
### Step 3: 異なったバージョン間での設定の維持

このステップでは、異なったバージョン間、例えば新旧のバージョン間で設定を維持する方法を見ていきます。コンフィグレーションマネージャーはバージョン9以降で利用可能なので、設定を維持することが可能なのはバージョン9とそれ以降のバージョンに限られます。

- あるバージョン(古いバージョン)上で、ローカルモードを指定します。



- ツール  コンフィグレーションマネージャー  **すべて保存** コマンドで、現在の設定を myconf1 として C:\main\_conf フォルダーへ保存します。



- 次のファイルとフォルダーが作成されます。

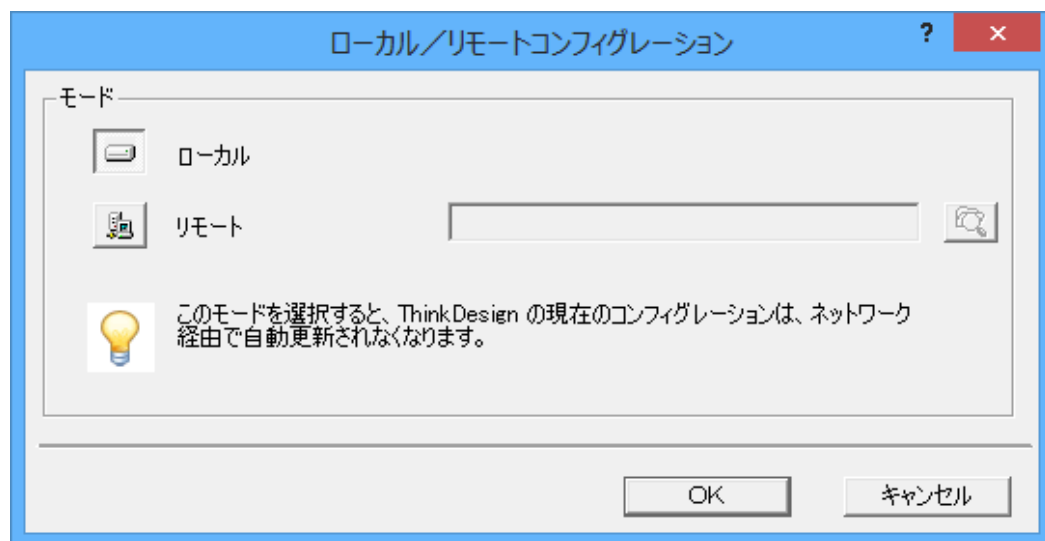
C:\main\_conf\myconf.t3c

C:\main\_conf\myconf\\*.\*

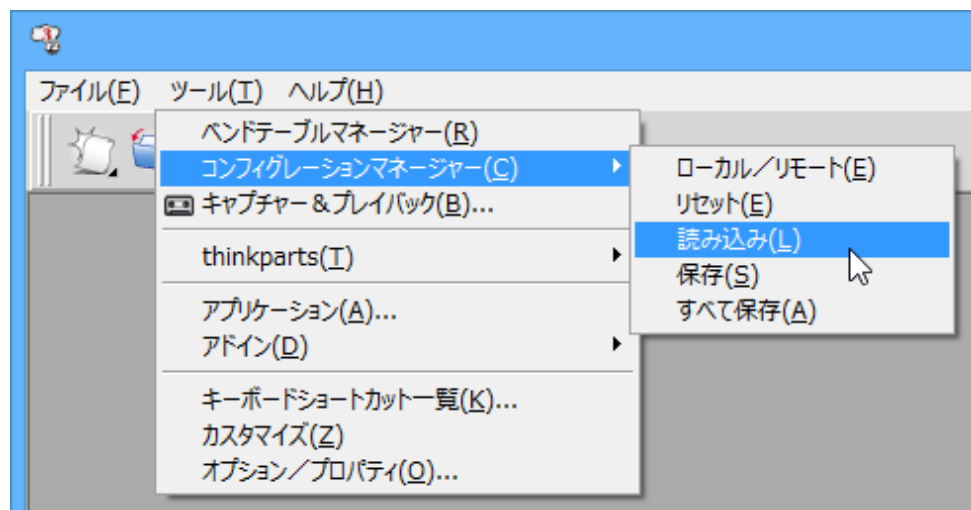


別のバージョン(新しいバージョン)をインストールします。

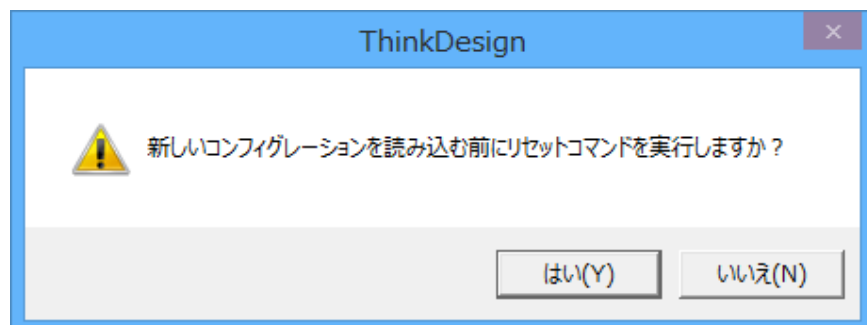
- 新しいバージョン側でも、ローカルモードを指定します。



ツール  コンフィグレーションマネージャー  読み込み を選択し、保存した myconf.t3c ファイルを指定します。



ファイルを指定すると、次のメッセージが表示されます。



「はい」を選択すると、すべての設定をリセットしてコンフィグレーションを読み込みます。  
「いいえ」を選択すると、現在の設定に上書きしてコンフィグレーションを読み込みます。

次に、以下のメッセージが表示されます。



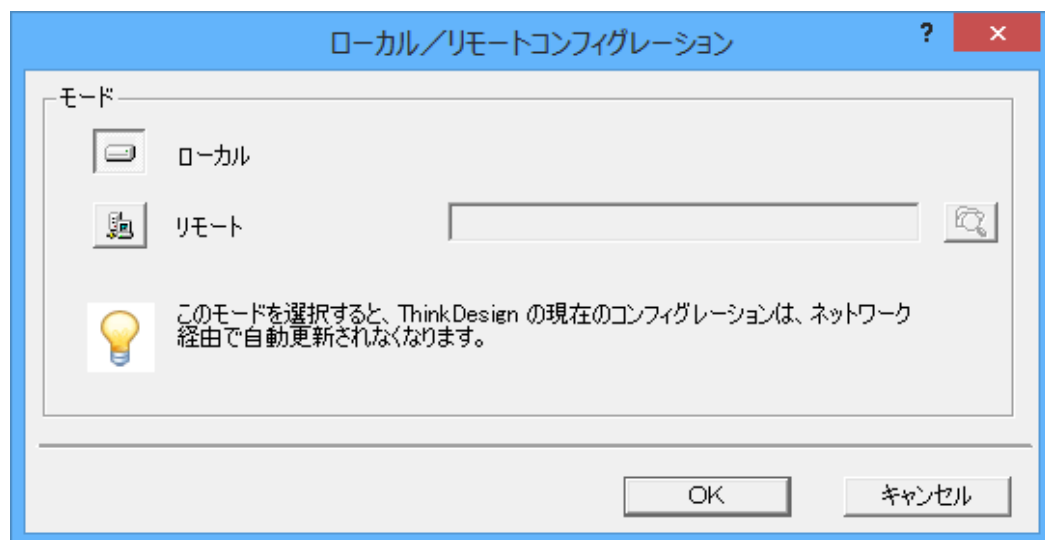
ThinkDesign を再起動すると、新しい設定が有効になります。



## Step 4: 異なった設定の管理

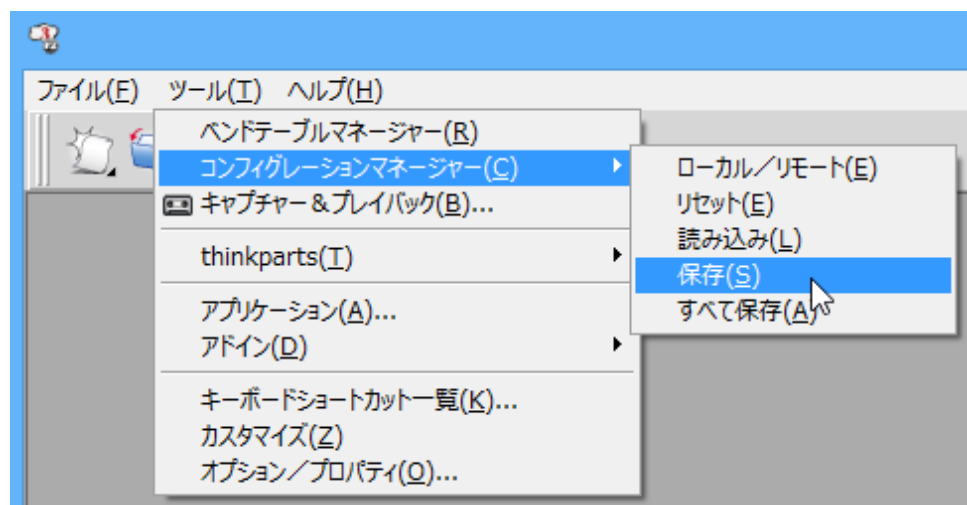
このステップでは、異なったスタイル設定を持つ2つの設定の作り方と、その管理方法を見ていきます。それぞれを **myconf1** と **myconf2** とします。

はじめに、**myconf1** を作ります。

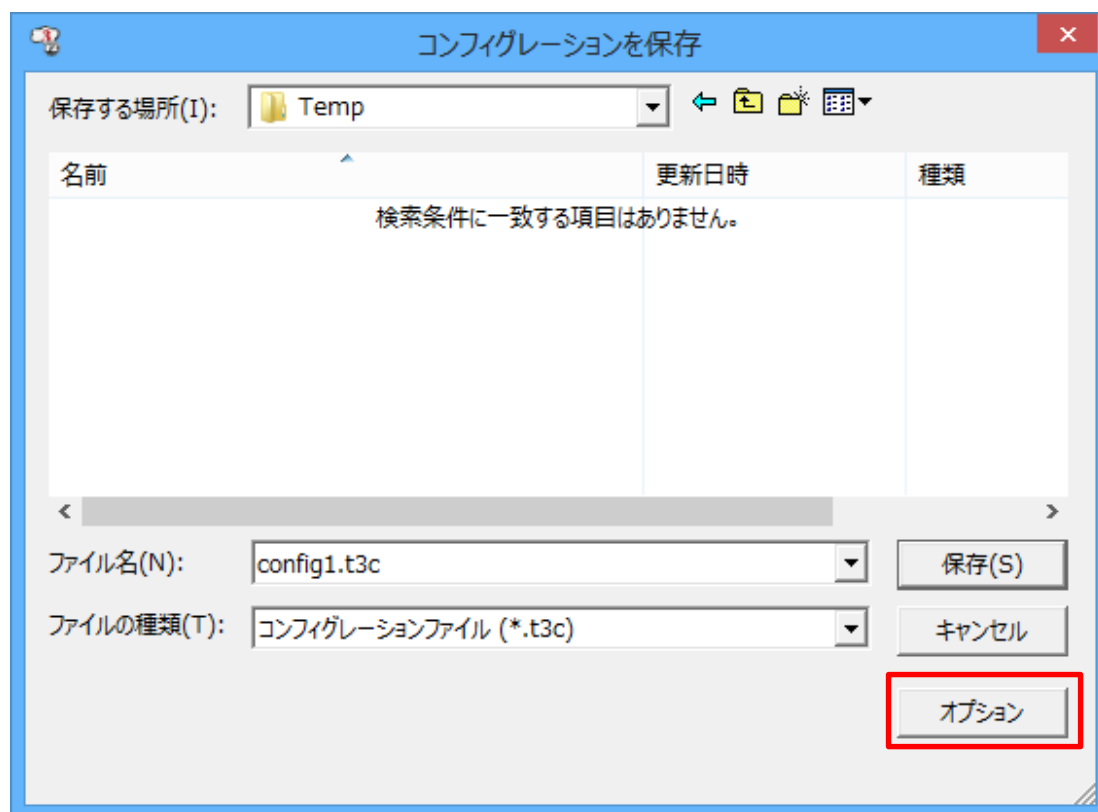
- ローカルモードに設定します。



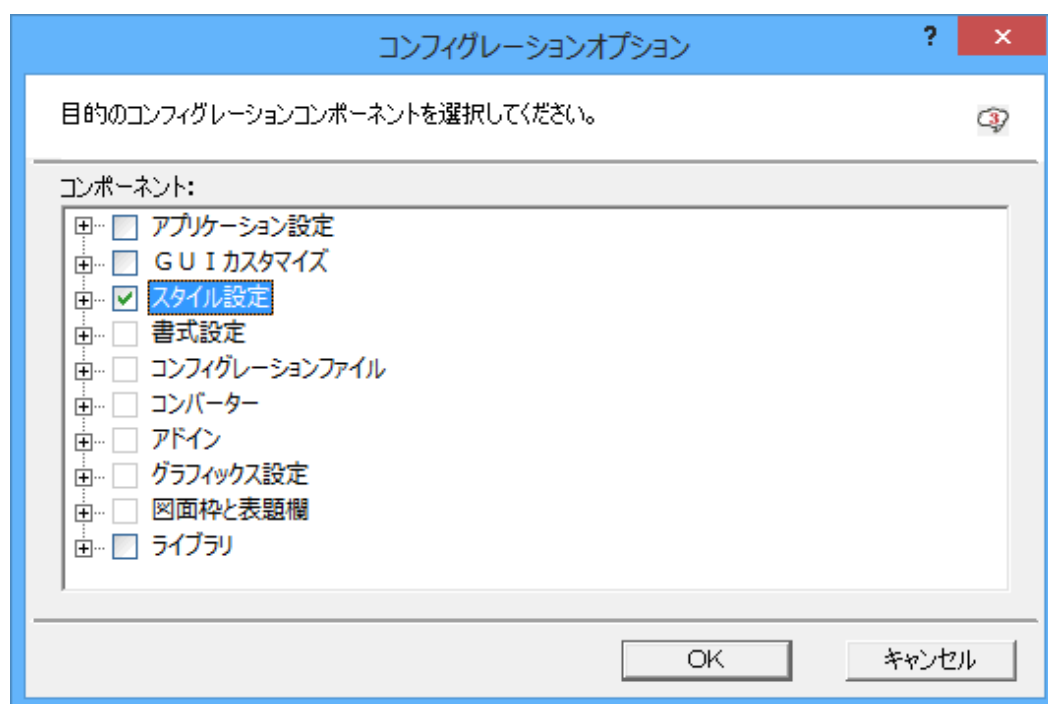
ツール  コンフィグレーションマネージャー  保存 コマンドを選択します。



保存ダイアログの、オプション ボタンを押します。



表示されるコンフィグレーションオプションダイアログで、☒ スタイル設定 にのみチェックします。



設定を myconf1 として、フォルダー C:\main\_conf に保存します。



次のファイルとフォルダーが作成されます。

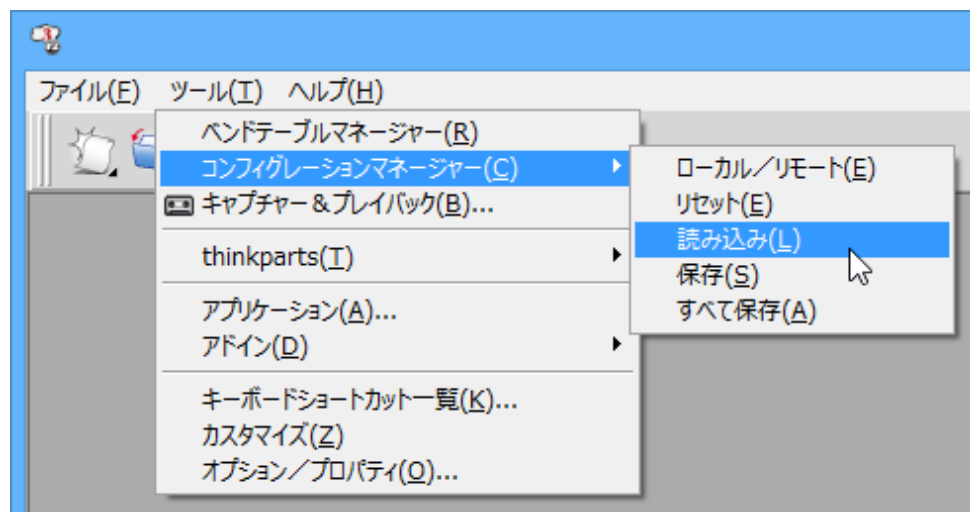
C:\main\_conf\myconf1.t3c

C:\main\_conf\myconf1\\*.\*

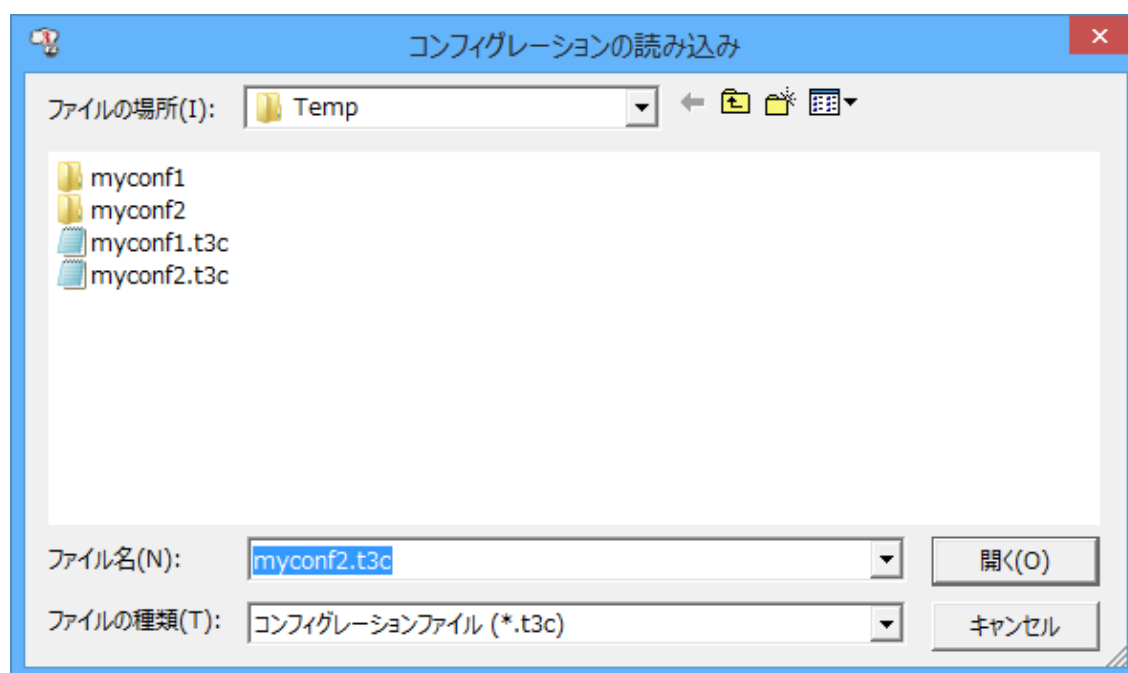
次に、スタイルの設定を変更し、同様の手順で新しい設定を **myconf2** として保存します。

これで、2つの設定を選択して読み込む準備ができました。

それでは、設定を読み込みます。ツール  コンフィグレーションマネージャー  **読み込み** コマンドを選択します。



2つの設定のうち、どちらかを指定します。



ファイルを指定すると、次のメッセージが表示されます。



「はい」を選択すると、すべての設定をリセットしてコンフィグレーションを読み込みます。  
「いいえ」を選択すると、現在の設定に上書きしてコンフィグレーションを読み込みます。

次に、以下のメッセージが表示されます。



ThinkDesign を再起動すると、新しい設定が有効になります。

## コンフィグレーションマネージャーリセット

バージョン 2008.1 からコンフィグレーションマネージャーにリセットコマンドが追加されました。  
このコマンドはアプリケーションを初期設定に戻します。

リセットコマンドを選択すると、次のメッセージが表示されます。



はい を選択すると、次のメッセージが表示されます。



ThinkDesign を再起動すると、初期設定に切り替わります。